

巻 頭 言



京都府知事 西脇 隆俊

人とコミュニティを大切にする 共生の京都府をめざして

京都の北部地域は古代大陸との交流の窓口として栄え、また、約 1200 年前、現在の京都市の位置に築かれた平安京は唐の長安をモデルに建造されるなど、京都府は、古から今日に至るまで、世界の人々と交流し、多様な文化を受け入れ、新たな価値を創造し発展を遂げてきました。

京都府には、このように長い歴史をかけて先人が守り紡いできた豊かな文化をはじめ、多彩な観光資源、大学・研究機関や多様な企業の集積など、京都ならではの「力（ポテンシャル）」があり、今後も世界の方々との交流を通じて、多様な価値観や活力を取り込みながら、新しい時代の京都府を築いていく必要があります。

現在、京都府では、世界7つの地域との間で友好提携を結んでおり、青少年、文化芸術、学術研究、経済・産業、環境などの多様な分野で交流するとともに、海外販路開拓、観光、エネルギー、高校留学、スマートシティといった特定の分野を中心とした交流も進めているところです。

また、新しい時代のスタートの年である令和元年、京都府総合計画「京都夢実現プラン」を策定し、20年後の2040年に実現したい京都府の姿として「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして」を掲げました。

その実現に向けた基本施策のひとつに「留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会」を掲げ、海外の優秀な人材や企業を呼び込む活動や、外国人労働者が地域社会に溶け込むための交流活動、地域における日本語教育の推進、災害時の多言語対応など、日常的な国際交流や多文化共生の実現に向けた取組を進めているところです。

これらの取組を通じて、海外の多くの人々や企業を魅了する地域を目指すとともに、府民の皆様と力を結集し、「京都モデル」で日本、世界をリードする、そして、府内全ての地域が、活力にあふれ誇りの持てる、新しい時代の京都を築き上げたいと考えています。

しかしながら、めまぐるしく変化する社会情勢の中、京都府だけで解決できる課題はほとんどありません。今後も関係の皆様と力を合わせながら、誰もが生き生きと暮らし、幸せを実感できる多文化共生社会の実現に取り組んでまいりますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。